

エゾエンゴ・サク 蝦夷援護

社会福祉法人北ひろしま福祉会

ゆく vol.50

ごあいさつ

日頃より、法人の運営に対するご理解とご協力に紙面を借りてお礼申し上げます。

さて、1949年10月に障がい児福祉施設の北海道における草分け的存在として開設されてから、今年で65年を迎えることとなりました。この間、制度改革やそれに伴う組織改革、そして意識改革など常に改革改善に努めて参りました。特に平成元年以降は、法人基本理念の見直しと運営組織の改革を行いました。これは、利用者と家族、全ての皆様への満足を提供するためであり、今日ある法人の基礎となる大きな転換期であったように思います。また、法人理念を役職員一同追求する姿勢が、障がい者支援においての実績として評価され、2012年10月に特別養護老人ホームの事業者として北広島市から選ばれた要因のひとつと自負しております。

このように、改革改善の事業展開を行ってきた結果、今年4月1日には職員数370名・利用契約者460名となり、5月1日の開設後には、デイサービス利用者も含めると利用契約総数は610名に拡大する予定です。法人事業の開始以降、必要に応じて新たな事業を増やしてきましたが、今日では、北広島市はもとより近隣の市町村からも期待される法人として責任は重いものを感じています。そのためにも、全ての役職員の資質向上はもとより、利用者とご家族の皆様の利用満足が得られ、地域の誰からも必要とされる法人となれるようベストを尽くし事業を推進して参ります。

今後も引き続き、北広島市にある福祉施設として、地域に根差した活動にも積極的に参加し、地域貢献活動のひとつである共生型事業を基本に、地域行事における職員参加など市民交流の機会を多く作り、共にこの地域で生きることを最も大切に思う法人でありたいと願っています。

北ひろしま福祉会 総合施設長 奥田 誠

私たちには、利用者満足・家族満足を追求し、
個性を大切にした、心をこめた支援を行う専門家です。
私たちには、心と体の成長を基本に、生涯寄り添いながら
生きる力を育む支援を行う専門家です。
そこで、私たちは相手をよく**知る**支援、
「ライフサポートシステム」を
実践いたします。

「ライフサポートシステム」5本の柱 ～Knowing your life～



私たちの支援スタイルは、「5つの大切」に思いを込め、日々の生活における様々な表現を最大限理解した、相手を**「知る」**事を基本に実践します。



平成26年度 北ひろしま福祉会 支援システム概要

障がい福祉サービス

施設入所支援

- ・とみがおか(定員80名)
- ・共栄(定員80名)
- ・グリーンパーク北ひろ グループホームくるみ(定員1名)

共同生活援助(介護サービス包括型)

- ・グリーンパーク北ひろ ホーム17箇所(定員93名)
- ・ハーモニー(定員20名)
- ・ほたる(定員5名)

生活介護(日中活動支援)

- ・とみがおか(定員80名)
- ・共栄(定員80名)

北広島セルプ(多機能型70名)

- ・北広島セルプ 就労継続支援B型(定員54名)
- ・ガンバ 就労移行支援(定員6名)
- ・ホタテ俱楽部 就労継続支援A型(定員10名)

北広島デイセンター(多機能型60名)

- ・北広島デイセンター 生活介護(定員40名)
- ・いんくる 就労継続支援B型(定員20名)

相談支援事業所

めーでる

- ・指定特定相談支援事業
- ・第1号職場適応援助者事業
- ・地域生活支援事業(就労相談・生活支援強化型)

介護保険事業サービス

特別養護老人ホーム 東部緑の苑

- ・ユニット型介護保険施設サービス(定員100名)

東部緑の苑 短期入所事業

- ・ユニット型短期入所生活介護(定員20名)

ケアプランセンター 東部緑の苑

- ・居宅介護支援・介護予防支援

経営管理本部

総務部

- ・総務・経理・庶務・法人事務

管理部

- ・予算管理・人事(職員採用)・法人広報

事業部

- ・渉外・事業申請・地域活動

ライフサポートセンター(旧利用相談室)

- ・利用受付・行政手続・相談業務・サービスコーディネート

機能訓練センター

- ・利用者の健康・身体機能維持改善・意思疎通

第48回施設開放事業

冬の開放事業が、12月28日(土)～12月30日(月)の日程で開催されました。

今回もたくさんのご応募とご参加を頂きありがとうございました。

1日目 お正月が近いことから家族で楽しんでもらいたいと、13名の小中学生で福笑い作りをしました。午後からは、風船運びゲームや絵合わせカルタ、毛布で引っ張りリレーなどレクリエーションで大いに盛り上がりました。おやつの和風ぜんざいもおいしかったです。



3日目 水の楽園「ガトーキングダムサッポロ」へ出掛けました。大きなプールで泳げるこの企画は、毎回たくさんのご応募を頂いている人気の外出企画となっています。昼食のバイキングも、デザート付きで種類豊富なメニューに目移りしてしまうほどでした。



2日目 選択外出では、二カ所に分かれて外出しました。ラウンドワンでは、ロデオや野球のバッティング、ゴルフなどで身体を動かして遊びました。また、白い恋人パークでは工場見学と個々にデザインを考えたクッキー作りを楽しみました。



冬の開催でしたが事故なく終了することができ、参加者全員で楽しい冬の思い出を作ることができました。

来年度の施設開放事業も皆様に楽しんでもらえる企画をご用意してお待ちしております♪

北広島セルフ 就労継続支援A型事業所 ホタテ倶楽部開設

平成26年3月1日に就労継続支援A型事業所としてホタテ倶楽部が開設しました。ホタテ倶楽部では1次加工としてカキ養殖に使用するホタテ貝殻に穴を開ける作業を行っています。この作業は岩手県や宮城県等の震災被災地の障がい者就労事業所が、2次加工の作業を行えるようにする、震災支援の側面も持っています。



北広島セルフは障がいを持った方の「働くこと」をサポートする事業所で一般企業での就労に結びつかなかった方や企業などに離職して雇用関係がない方へ就労の機会の提供を積極的に行っております。



今年度の就労実績

今年度、北広島セルフ・就労センタージョブでは、あわせて9名の方が一般就労に結びつきました。

主な就職先 株式会社ジンコーポレーション、イオン北海道株式会社(千歳店)、株式会社長登屋札幌工場、ハローワーク千歳、株式会社北海道サンジェルマン、札幌センコー運輸株式会社、札幌プリンスホテル、株式会社ネクスコ東日本リテイル(輪厚パーキングエリア)、株式会社エンパイア

一般就労者へのインタビュー



尾藤 拓也さん

- ・就職先～札幌センコー運輸株式会社
- ・仕事内容～倉庫内作業(主にオリコン整理など)
- ・勤務形態～週休2日制
シフト勤務 9:00～17:00
- ・就労センタージョブ(就労継続支援B型)を利用していました。

Q1.お仕事のやりがいは?

作業量が多いので、自分がしていた仕事が片付いた時に達成感を感じます。

Q2.お仕事で心掛けていることは?

指示されたことをきちんとこなすことと、作業状況について正確に伝えることを心掛けています。

Q3.今後の目標は?

仕事をする上で職場の方々から信頼されるようになりたいです。

Q4.一般就労を目指している方々へ一言をお願いします。

集中力や根気強さが大切になってくると思います。真面目にコツコツとやる気を持って皆さん頑張ってください。

尾藤さんは、就労センタージョブで作業を行っていたことが自信に繋がっていったようです。一般就労を諦めた時期もありましたが、最後まで諦めないでいて良かったとお話してくださいました。今後とも、体調に気を付けながら日々のお仕事に取り組んで頂きたいと思います!

「ふれあいステーション ほっと」

「ふれあいステーション ほっと」では、さまざまな講座を開講しております。

寺子屋

“学校でも塾でもない、自主学習”的場です。定年退職された教員等の方が、地域の子供たちに学習のワンポイントアドバイスを行っています。



卓球教室

未経験の方も経験者の方も、2階の多目的室にて交代で試合をし、時には、講師の先生に打ち方の指導をしてもらい楽しく活動しています。



創作ダンス教室

講師をお招きして、3階のスタジオでご指導いただきました。経験者から未経験の方までさまざまな方が参加しています。



その他にも、子供や高齢者の為の地域防犯教室や、マシントレーニング講座などを開講しております。



運営委員会では、“継続してやってもらいたい事”を募集しています。
お気軽にご相談ください。

住所：北広島市朝日町4丁目4番地11
電話：011-373-8809
(北ひろしま福祉会法人本部)
FAX:011-373-8673

勇太鼓

3月に演奏依頼で恵庭地区保護司会創立40周年記念祝賀会での演奏を行ってきました。実は10年前に、創立30周年記念会でも演奏をさせて頂いており、今回も依頼を頂いて嬉しい思います。祝賀会後には北広島市長の上野市長より、「北広島と言えば勇太鼓」と嬉しいお言葉を掛けて頂けました。



北ひろしま福祉会の活動では「勇太鼓」という和太鼓演奏の活動があります。勇太鼓は法人の利用者さんと地域ボランティア、法人の職員とで構成されています。

北広島市を中心に札幌市、恵庭市、南幌町など道内さまざまな市町村で活動し、主にお祭りやイベントでの出演依頼を受けております。また、今年より北広島市の小学校で太鼓の指導も行い、昨年度は13ステージをこなす等、精力的に活動しております。和太鼓に興味のある方、イベントでの演奏を依頼されたい方は、是非、北ひろしま福祉会へご連絡ください!



第19回「赤い羽根」ティーボール北の甲子園大会 北海道知事Cup

平成25年12月7日札幌ドームで行われた、第19回「赤い羽根」ティーボール北の甲子園大会 北海道知事Cupに当法人から、2チーム(トミーズ、ブルースター)が参加しました。選手は、札幌ドームの人工芝を踏みしめ、練習の成果を発揮しのびのびとプレーしていました。大勢のギャラリーの中でプレーする姿は、とても輝いていました。特大アーチや好プレーもたくさんあり、みなさん笑顔を絶やすことなく最後までプレーを楽しんでいました。



特別養護老人ホーム東部緑の苑

特別養護老人ホーム東部緑の苑は、法人として初めて取り組む高齢者支援事業であり、しっかりと準備し実行できるよう開設準備室を設置し、平成26年5月1日の開設に向けて取り組んでまいりました。

事業内容は、特別養護老人ホーム(定員100名)・短期入所生活介護事業(定員20名)であり、加えて指定居宅介護支援事業・通所介護事業です。利用者お一人ひとりの暮らしの充実と尊厳を支えるケアを目指し、共に生きる生活の場の提供と自立支援に努めます。

北広島市では初めてのユニット型特別養護老人ホームです。ユニットケアの理念である「暮らしの継続」という視点を第一に考え、少人数ケア体制を作り、

- ①入居者が自分の住まいと思えるような環境づくり。
- ②24時間の暮らしを保障する仕組みづくり。
- ③今までの暮らしを続けてもらえるような「暮らし」をつくる。

を原則として、ユニットケア施設を運営します。



法人の基本理念である「利用者満足・家族満足の限りなき追及」、「笑顔と個性を大切にする支援」、「丁寧できめ細かな心を込めた支援」を提供するため、個別ケアの徹底を図ります。

現在開設準備室は専任職員10名体制で、入居予定者の面談、4月から迎える新入職員教育及び5月の入居受入れに向けた準備を日々行っています。

この事業が多くの方にとって有益なものとなるよう努力してまいりますので、地域の皆様、関係機関の皆様には今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

公式Facebook開始

北ひろしま福祉会では、平成25年11月22日より、皆様に当法人の活動を知っていただく為に、公式Facebookを始めました。1日1投稿を目標にかけ、広報委員が主体となりさまざまな内容を皆様にご紹介しております。これまでの投稿内容としまして、

- ・「ふれあいステーション ほっと」の開講講座
- ・採用活動
- ・施設開放事業
- ・勇太鼓
- ・あぐりのパン、レストラングリーンパークの売り上げベスト5
- ・環境に優しい段ボール エコ・ロジ・パコ …などなど



これからもたくさんの方にご覧いただけるよう邁進いたしますので、ご覧になられていない方はぜひともごらんいただき、Facebookページのいいね!を押していただければ幸いです。

【公式FacebookページURL】 <https://www.facebook.com/kitahirofukusikai>

今後の予定

- 4月 グループホーム「かえで」「あかり」を開設
- 4/24 東部緑の苑 落成記念式典および記念祝賀会
- 5/1 東部緑の苑 開設
- 5/17 環境整備・春祭り
- 6月 共栄緑の郷 年金旅行
- 8月 第49回施設開放事業・第3回市民の郷祭り

編集後記

まだまだ寒い日が続いておりますが、朝明るくなるのが少しずつ早くなってきており、確実に春が近づいていることが感じられる今日この頃です。

いよいよ平成26年度を目の前に北ひろしま福祉会は「東部緑の苑 開設」に向けて着実に準備を進めているところです。障がい福祉サービスで築き上げてきた法人の理念・歴史から新たに介護保険事業のサービスを提供するに当たり、今までと変わらない法人運営を進めると同時に今まで以上に地域に根差したサービスを展開し地域貢献に積極的に参加していきたいと思います。